

# 西表島で 熱帯の造林樹種を磨く

西表島で熱帯の造林樹種を磨く



南十字星の見える「南の島」。そこで開発したアカシアやユーカリなど熱帯樹種の品種改良技術や西表島ならではの動植物の映像をご紹介します。

講師：千吉良治

# 西表島で熱帯の造林樹種を磨く

西表熱帯林育種技術園は、熱帯の造林樹種の品種開発とその関連技術を開発する拠点として、1996年に屋外で多くの熱帯樹種が育つ環境にある西表島で開園しました。その主な研究開発の成果を紹介します。

アカシア属やユーカリ属等の生長の早い熱帯造林樹種について、さし木等の栄養繁殖や、種子の貯蔵期間等に関する技術開発等を行い、マニュアルを作成しました。



作成したマニュアル

## 樹種毎の栄養繁殖の成功率

樹種	さし木		接ぎ木		とり木	
	成功率 (%)	西表島での適期	成功率 (%)	西表島での適期	成功率 (%)	西表島での適期
アカシアマンギウム	17	春	64	春	38	春、秋
アカシアアウリカリフォルミス	77	春、秋	42		75	春
ユーカリユーロフィラ	3		37	春	12	
ユーカリグランディス	7	秋	22	春	10	



ビニールチューブによる簡易な人工交配



人工交配で得られた種間雑種の種子

東南アジアで植林面積を増やしつつある、アカシアの種間雑種を人工交配によって作り出す技術を開発しました。2013年からは開発した技術の実証試験をベトナムで実施しています。

熱帯の海岸域や日本の八重山等に広く分布し、高い防風・防潮効果のほか、木材の利用なども見込めるテリハボクの品種開発に取り組んでいます。これまでに、成長が早い家系と遅い家系とでは植栽から三年で二倍程度の樹高のひらきが予測されることを明らかにしました。この結果に基づき台湾や太平洋共同体と種子の交換を行い国際的な産地試験を行っています。



テリハボクの分布域



台湾の共同試験地



テリハボクの街路樹